

(別紙4(2))

事業所名： グループホーム ひなたぼっこ・相生①②

目標達成計画

作成日： 平成 26年 11月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化に伴う終末期（看取り）について、ご本人やご家族の希望を伺いながら看取りを行っているが、その後の職員に対する心のケアや生死観の研修等を実施した方が、今後のケアにも活かされると思う。	より良い看取りを行うためにも、職員ひとりひとりの心のケアや死生観を含めた研修を実施する。	外部の研修に参加する機会を持つ。管理者は職員ひとりひとりと面談し、不安や悩みを聞きストレス等の軽減を図る。	12ヶ月
2	35	火災に対する訓練だけでなく、自然災害に対するシュミレーションが必要。	総合防災訓練の実施	消防署、地域住人等の協力を得て、より実践的な避難訓練を実施する。	6ヶ月
3	4	重度化に伴い、入退居の関係で運営推進会議の開催できず	定期的開催に努める	年間の予定表を作成し、定期的開催が実施できるよう努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。